

I. 研修の開催に関すること

- 1. 研修開催場所の箇所数 (3)箇所
- 2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

県内全域からのアクセスを考慮し、県央地区に位置する茨城県看護協会研修センターを主な開催場所とした。

- 3. 研修開催回数 延べ(8)回

II. 研修受講者に関すること

- 1. 研修受講者数等(実人員)
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数	
第1回	(45)名	(45)名	} シリーズ
第2回	(45)名	(45)名	
第3回	(45)名	(45)名	
第4回	(52)名	(51)名	} シリーズ
第5回	(52)名	(51)名	
第6回	(52)名	(50)名	
第7回	(62)名	(60)名	
第8回	(109)名	()名	→ これから実施

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

- 2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	(96)名	(95)名
診療所	()名	()名
助産所	()名	()名
介護老人保健施設	()名	()名
指定訪問看護事業所	()名	()名
その他 (看護学校)	(1)名	(1)名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	(8)名
100～200未満	(32)名
200～400未満	(31)名
400床以上	(25)名

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	(0)名
看護副部長	(1)名
師長	(6)名
係長・主任	(48)名
スタッフ	(40)名
その他	(1)名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

<p>①3日間コースについては、新人看護職員研修教育担当の任にあたり、3日間受講可能である者を対象とした</p> <p>②第7回は、3日間コースに参加した者を対象とした</p> <p>③第8回の小規模施設における新人看護職員研修の実際についての研修は、400床以下の中小規模の施設を対象とした</p>
--

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

<p>①事業の周知</p> <ul style="list-style-type: none">・年度初めに看護協会会員に配布する「教育計画」(冊子)に掲載・茨城県看護協会ホームページに掲載・県内の中小規模施設(400床以下)に文書による開催案内を郵送で周知 <p>②参加者募集方法</p> <ul style="list-style-type: none">・申し込みはFAXまたは郵送にて受付
--

Ⅲ. 研修内容に関すること

1. 受講形式

- A** 全日程を受講することを基本としたコース形式
B 講義毎に部分的に受講する形式

2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
9月	教育担当者研修①	5	新人看護職員研修における教育担当者の役割・教育に関する知識 (講義)
9月	教育担当者研修②	5	到達目標の理解と設定 (講義、グループワーク)
9月	教育担当者研修③	5	課題と解決策の検討、年間教育計画の立案 (講義、グループワーク、ポスターセッション)
10月	教育担当者研修①	5	新人看護職員研修における教育担当者の役割・教育に関する知識 (講義)
10月	教育担当者研修②	5	到達目標の理解と設定 (講義、グループワーク)
10月	教育担当者研修③	5	課題と解決策の検討、年間教育計画の立案 (講義、グループワーク、ポスターセッション)
2月	教育担当者研修④(メンタルサポート)	2.5	新人看護職員および実地指導者のストレス傾向を理解し、教育担当者としての対応(関わり方)技術を習得する (講義)
2月	教育担当者研修⑤(小規模施設における研修体制の実際)	2.5	・小規模施設における新人看護職員研修整備に向けた実践発表 ・新人研修アドバイザーによる施設訪問で見てきた小規模施設の新人看護職員研修(講演、実践発表、意見交換会)

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) ()名
 ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 (3) 名
 施設の教育担当者(教育責任者等) (1) 名
 専門看護師・認定看護師 () 名
 その他 () 名

その他の職種： 職種等(看護コンサルタント) (1)名
職種等(茨城県看護協会職員) (1)名
職種等() ()名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

(5)日 (20)時間

5. 4. の内訳 講義 (14)時間 演習 (5)時間

その他 (小規模施設取組発表) (1)時間 オリエンテーション ()時間

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・教育担当者は各看護単位に1名配置と考え、多くの方が参加しやすいよう、3日間で1クールの研修を2回開催した。
・教育担当者研修の内容は基本的なものとし、日本看護協会「教育担当者研修プログラム(案)」を参考に計画をした。
・研修参加者へのアンケート結果から、小規模施設における研修体制の整備や施設間の連携に関する要望があり、小規模施設(400床以下)の研修責任者及び教育担当者を対象とした研修を追加企画した。研修内容は、課題の共有や施設間の連携が図れるよう、新人研修アドバイザーが施設訪問でみてきたことや実践事例発表を行う。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

・定員50名のところ第1回受講者45名(受講率100%)、第2回受講者52名(受講率98%)であった。
・3日間シリーズの教育担当者研修は、事後アンケート調査結果から研修目的がほぼ達成できたと考える。
・県内病院の新人教育体制には温度差があり質的にもばらばらなところがあるが、3日目に年間教育計画作成のグループ演習を行い、他施設との情報交換ができ、自施設での活用に繋げようとする姿勢を多くの研修生から感じた。
・今後に向けては、小規模施設における新人看護職員研修体制の整備が課題であり、それに向けて取り組んでいく必要がある。

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先(茨城県看護協会)